

1869

(明治2年)

学祖・西園寺公望。

西園寺の私塾・立命館は、人間の本分を全うする場所。

最後の元老として自由主義者・国際主義者だった立命館の学祖・西園寺公望は、1869(明治2年)、御苑内の邸に私塾「立命館」を開設。大志を抱く青年たちがここから新しい時代を見つめています。



●学祖・西園寺公望

1900

(明治33年)

私立京都法政学校。

時代の先端を学んだ
中川小十郎創立の初期立命館。

1900(明治33)年、京都の街角、「清輝樓」と呼ばれた料亭跡で夜遅くまで、勤労学生が勉学にいそしんでいました。これが中川小十郎の創立した私立京都法政学校(のちの立命館)の初期の姿です。

1922

(大正11年)

立命館大学へ。

大学令により立命館大学へ。
法学部、研究科、予科設置。

私立京都法制学校設立から4年後の1904(明治37)年、大学部を開設。立命館は官学・私立の区別により、不遇を受けながらも「学問の自由」を貫き、1922(大正11)年、ついに立命館大学に昇格を果たしたのです。



●広小路学舎

1933

(昭和8年)

京都帝国大学事件。

困難な戦時中にも、
学問の灯をともし続けた立命館。

ファシズムの台頭著しい1930年代、言論・思想をはじめ学問への弾圧が強まるなか、当局と対立した京都帝国大学法医学部の全教員が辞表を提出。立命館はこのうちの17人を教授・助教授として迎え入れました。

1953

(昭和28年)

わだつみ像除幕。

札幌出身の彫刻家 本郷新 作の
戦没学生へのレクイエム建立。

1943(昭和18)年、太平洋戦争で劣勢を極めた日本は学生の徴兵猶予を廃止。多くの学生が戦場で尊い命を落としました。彼らの悲しみを表した「わだつみ像」がキャンパスで平和を見守っています。



1981

(昭和56年)

京都・衣笠キャンパスに全面移転。

同一キャンパスに統合され、
全学的共同の条件が整うことになる。

戦後、あらゆる側面で変化する日本と国際社会に立命館も呼応してきました。学部の増設や学舎の拡張を繰り返す中、1981(昭和56)年、現在の衣笠キャンパスへ全面移転。全学的共同の条件が整いました。



●広小路学舎



●国際平和ミュージアムの内観

1992

(平成4年)

国際平和ミュージアム。

教学理念「平和と民主主義」を具体化する教育・研究機関。

1992(平成4)年5月、キャンパス内に国際平和ミュージアムを開設。二つの世界大戦や世界が抱える紛争問題などの実態を通して、平和の尊さを考えるきっかけとなる展示が常設されています。

1996

(平成8年)

立命館大学慶祥高等学校開校。

北海道の人材育成の理念を掲げて開校。2000年から中高一貫がスタート。

1996(平成8)年、慶祥学園札幌経済高校(高等経理学校)の創設者・足羽慶保氏が唱えた理念「北海道の人材育成」を受け継ぎ立命館慶祥高校が誕生。2000(平成12)年、中高一貫教育を実現しました。



●豊かな緑に囲まれる広大なキャンパス



●進化論の島「ガラパゴス」島

1998

(平成10年)

立命館慶祥・海外研修スタート。

目指しているのは世界に通用する18歳。異文化を体験する海外研修プログラム。

学校スローガン「世界に通用する18歳」を育成する教育の一環として、1998(平成10)年からガラパゴスやボルネオなど、世界8カ国での海外研修をスタート。早くから国際人としての素養を身に付けます。

2000

(平成12年)

北海道で中高一貫教育。

立命館慶祥中学校 開校。
中高一貫による教育のダイナミズム。

高校設立5年目の2000年、北海道で「世界に通用する18歳」を育てる環境充実のため、立命館慶祥中学校を開校しました。私学教育ならではの「中高一貫教育」を目指した挑戦が始まったのです。



●立命館慶祥中学校の生徒たち

2001

(平成13年)

平和教育への取組み。

原爆の地、広島・長崎を訪問。
21世紀の平和を考える。
つながる平和、日本と世界。

立命館は教学理念として「平和と民主主義」を掲げています。設立当初から平和教育に取り組み、創造的な教育を実践。立命館慶祥を基点とした「世界に通用する18歳」は、21世紀のPEACE MAKERとなるのです。



●立命館アジア太平洋大学校舎

2000

(平成12年)

立命館アジア太平洋大学。

100周年事業として
21世紀社会へ開かれた大学開学。

2000(平成12)年、創始130年・創立100周年を迎えた立命館は建学の精神、教学理念のさらなる具体化を目指し、「立命館アジア太平洋大学」を開学。21世紀の国際社会で活躍できる人材を育てています。

2006

(平成18年)

立命館小学校開校。

立命館初の小学校開校。
初等教育への新たなチャレンジが始まる。

2006(平成18)年4月、立命館小学校が開校。立命館中学校・高等学校との接続を図り、小学校から高校までを4年ごとに区切る「4・4・4制」を導入。国際社会のリーダーになりうる人材を育てます。



●立命館慶祥高等学校の生徒たち

2020

(平成32年)

立命館学園ビジョン。

自分を超える、未来を作る。
持続可能で平和な未来を作る学園へ。

学生总数50,000人、教職員3,000人を擁する学園の理念「立命館憲章」を踏まえ、2020年に向けたビジョンを策定しました。学びを通して互いの価値を認め合う学園。これが2020年の立命館の姿です。

●創始140年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



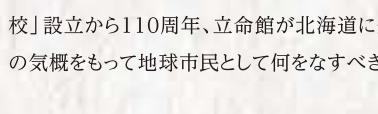
●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)



●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)

●創始140周年を迎えた立命館大学(衣笠キャンパス)

